

東神建水第 385 号  
令和 2 年 3 月 25 日

(基本設計者)

株式会社藤本壮介建築設計事務所  
代表取締役 藤本 壮介 様

(実施設計者)

ドーコン・創明建築設計事務所 共同企業体  
代表者  
株式会社ドーコン  
代表取締役社長 佐藤 謙二 様

東神楽町長 山 本 進

#### 複合施設整備事業基本設計書について

このことについて、下記のとおり講評会を開催し、複合施設整備事業基本設計書に対する様々な視点からの意見をいただきました。これらを踏まえて、実施設計に向けて留意しなければならない事項について取りまとめましたので、お知らせします。

なお、この内容は、基本設計者、実施設計者及び町の 3 者が、実施設計を進めるなかで、対応策や改善策を議論する必要がある事項と考えますので、それぞれの立場において、いただいた意見を真摯に受け止め、積極的に検討を進めるようお願いいたします。

#### 1. 開催概要

- (1) 開催日時 令和 2 年 2 月 17 日 (月) 13 時 00 分から 16 時 30 分
- (2) 開催場所 北海道大学工学部 A 棟 1-02 室
- (3) 開催内容 別紙 1 のとおり
- (4) 開催結果 別紙 2 のとおり

#### 2. 実施設計に向けて留意しなければならない事項

##### (1) 全体的な観点

全体コンセプトの考え方は変えずに、複合施設に入ってみたいと思わせるような、樹木の内側の状況が感じられるような仕組みを検討する。

##### (2) 回廊

回廊に設けている集えるスペースについて、室内環境を含めて、無目的な居場所として、居心地の良い空間となるように、実際に使う町民の目線を想定し、検討する。

また、回廊内の温熱環境については、落葉樹を季節や時間によって日射を遮る位置に植えるなど、空調機械のみに頼らない仕組みを検討する。

### (3) 塔

塔に設けるインスタレーションについて、設ける空間の用途を考慮し、また、維持管理方法を検証し、検討する。

また、樹木の高さなどを想定し、立面図ではなく人の目線での見え方も想定する。

### (4) 雪対策

吹き溜まりなどの状況を想定するため模型を使った実証実験（風洞実験）を行い、雪への対策を検討する。特に中庭の排雪方法について留意すること。

### (5) 室内環境

風が抜けるように開口部を配置することや窓の外側で日射を遮蔽する設備の採用など、空調機械のみに頼らない仕組みを検討する。

### (6) 庭、樹木

50年後、100年後を想定し、具体的な樹木のメンテナンス方法を検証した上で樹種を検討する。

また、いろいろな花や庭のエリアを設けた場合、それらを見て回る動線を計画する。

### (7) 既存庁舎の更新

既存庁舎の更新時期を迎えたときの具体的な対応方法を検討する。

### (8) 各機能

多目的交流室と健康相談室は、小児検診など具体的な利用を想定し、廊下の幅など再度検討する。

### (9) 事業費

概算工事費として約 35 億円を見込んでいるが、他の自治体と比較するとかなり低くなっているため、実施設計を進めるなかで、しっかりとコスト管理を行っていく。

(まちづくり推進課、建設水道課)

## 複合施設の整備に関する講評会

日時：令和2年2月17日（月）13：00～16：30

場所：北海道大学工学部 A 棟 1-02 室

### （1）実施設計に向けた有識者による講評会（第1部）

参加者：北海道大学 森教授  
札幌市立大学 齊藤教授  
北海道立総合研究機構 奈良部長  
北海道建設技術センター 影山部長  
東神楽町 山本町長 計 5名  
(進行：東神楽町 高田課長補佐)

- テーマ：a 東神楽のシンボル（顔）となる施設
- ・全体を囲む樹木について
  - ・塔について
- b 複合化による、にぎわい・交流の相乗効果の実現
- ・各機能をつなぐ円形の回廊について
- c 環境に配慮し、防災拠点として安全性の高い施設
- ・雪への対応（屋根形状、吹き溜まり等）について
  - ・室内環境（暑さ、寒さへの対応）について

### （2）実施設計に向けた座談会（第2部）

参加者：上記の1部参加者

北海道 清水主幹、小澤主査、坂本主任  
北海道大学 野村准教授  
院生 坪内さん、小沢さん、安間さん、坂下さん、大串さん  
学生 澤田さん 計 15名  
(進行：北海道大学 森教授)

- テーマ：a 50年後の社会の変化を想定し、使い方やメンテナンスを考える
- b 50年後もにぎわい・交流が続き、シンボルとしてあり続ける事を考える
- c これまでの慣習にとらわれない自由な発想で考える

## 複合施設の整備に関する講評会 : 意見概要まとめ

### (1) 実施設計に向けた有識者による講評会 (第1部)

| 項目     | 意見概要  |
|--------|---|
| 全体的な観点 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファサード主義的ではない庁舎のつくり方、それが敷地全体に対してそのコンセプトで考えていく所が、シンボル性ということも含めて良いアイデア。</li> <li>・建物内部からの見え方を詰めていくべき。</li> <li>・町民が使う施設は、中でやっていることを見せる建物が多いが、そうした賑わいは一旦、中に入らないと見えてこない。全部を樹木で囲って見せないのか、それともサークル形は認識させてどこかから見えるようにするのか、そういう調整具合はあるのではないのか。</li> <li>・人を引き付けるような、建物だけではなく施設全体が、出来上がったら、ぜひ見に行きたいというところがある。インパクトを与えるということを考えても良い設計。</li> </ul>  |
| 回廊     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「柔軟性と拡張性のある施設」と書いてあるが、回廊が将来の足かせになる可能性。</li> <li>・家具が一切無い、ストーンと抜けている感じのペースで格好良いが、良くも悪くも美術館的に感じる。</li> <li>・リングの途中がもう少し東神楽のおじいちゃん、おばあちゃん達、町民の手の届くような雰囲気にならないか。無目的な居場所がかなり限定的になっている。</li> <li>・賑わいのリアリティを実施に向けて落とし込んでいく必要がある、お祭りのような賑わい空間、立ち話をするちょっとした空間、きっかけとなるものはあるのか。</li> <li>・冬は寒い場所に5分、10分も居れないので、ちょっとしたホットスポットが回廊の中に、拠点とは別のところにあるのか、座る場所と暖房施設が一体化しているか、環境の質みたいなものをちゃんと作る必要がある。</li> <li>・全部ではないがルーバーが季節によっては開放できフレキシブルになる等、朝から夕方までの時間軸の中で人の集散をシミュレーションする事が大事。</li> <li>・基準法上の区画をつける必要があるのか、どこでつけるのか。温熱環境は、内側で断熱されていて中なのか、それとも、半屋外的に上着を着て歩くつもりなのか、やり方によってお金のかけ方もだいぶ違ってくる。</li> <li>・子どもを安心して遊べる所でないかと思うが、執務をしている所で子どもが走り回るのを許してもらえるのかどうか。子ども同士で集まればかけっこをすることが生まれる気がする。</li> <li>・回廊で繋がって出入り口が沢山あると、全てが表みたいになり、奥がほとんどない形でつくられている。職員カウンターや、機能が当てられている諸室にサンドイッチされている間は町民がリラックスできる状態にならないと思う。リングを町民の自由な滞在場所にしようとなると、暑い寒い両方含めて直していかないと居てられないということになりかねない。</li> <li>・夏、午前中は診療所からカフェの間の辺が暑い。南は建物が影をつくる。午後は、サークル活動室からバス停待合の間の辺の西日対策をやらないといけない。植栽をうまく使うか、夏の時だけ設置できる寒冷紗等のパフア、フック等をつけて外側遮蔽をしっかりとやる。窓をFIXにするなら、外側遮蔽した上で横から風を入れて上で抜くという方法を設けると、熱地獄からは少し避けられる。狙いとしては夏に空気温度で30℃を下回るような環境で問題ない。</li> <li>・スポット冷房が均等に効くためには、冷房箇所以外の回廊の日射の外側遮蔽をしっかりとやらなければならない。やらないと冷気がにじみ出るより、逆に熱が広がっていく。</li> <li>・樹木は落葉樹が良い。</li> </ul> |

| 項目   | 意見概要  |
|------|---|
| 塔    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・樹木で囲んで変わらない風景を突き詰めると、外から煙突が突き出ている必要はないが、ランドマークとして1つくらいは良いかなと思う。</li> <li>・（カフェとミニコンビニという）用途に対して、インスタレーションの演出がマッチングしているのかと少し懸念がある。</li> <li>・カフェなり滞在空間とした時に、滞在を心地良くする温熱環境を維持しようとするなら結構配慮していかないとランニングコストがかかる。</li> <li>・中の光環境をどうするのか、塔のトップなりどこから採るのか</li> <li>・自然換気で夏は光に配慮しながら熱を排出する仕掛けができるとそんなに暑くならないが、冬は暖かい空気が上に行ってしまうので、そうならない配慮が出てくる。</li> <li>・熱と光の処理、空気の流れは、選択肢が絞られる。換気ファンが必要となるが、その見せ方が難しいのでは。</li> <li>・14mの傾斜屋根とすると雪がどうなるのか心配、そこにカフェなりで人の出入りがあるとなれば、安全上の対策を充分考えた上での計画が必要。</li> <li>・インスタレーションのメンテナンスは配慮しながらやって頂いた方が良いのではないかと。</li> </ul> |
| 雪対策  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋根が斜めになっている所は、雪がどこに落ちるということを把握しておけば良い。</li> <li>・コーナーや隅みたいな所が沢山出てくる時、どこに雪が溜まっていくのか。溜まる所がが日常利用の動線、ガラスの横となった時に、どう建物の配慮が必要なのか。</li> <li>・除雪が具体的に人工を含めて必要になってくるのか、アプローチに係る所、建物と建物の間は、多分、職員の方がやらないとならない。どこが、どれくらいの手間で必要なのかを考えることが大事になる。</li> <li>・全てを除排雪だけでは賄えないと思うので、ヒーティング等を活用する事になると思う。その場合の冬のアクセスは思い切って制限かけてしまうべき。</li> <li>・ガラス面への雪の接触は、全くないとは言えないが、定常的に考えると、室内側から常に放熱しているので、建物の外壁面の雪はなだらかになる。</li> <li>・後志総合振興局の中庭は、窓から離して堆雪していたが落雪が原因で窓が割れた。</li> <li>・小さい庭は除雪機を入れられるようにした方が良い。</li> <li>・除雪機で雪が飛ばせるのか。</li> </ul>                            |
| 室内環境 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハードとしての断熱性、遮熱性は当然大事だが、ハードの性能を有効に働かせるためには2つ手段がある。1つは機械、システムだが高い。もう1つは手動。職員の方が窓が開けやすいか、照明が調整しやすいか、使うユーザーが理解しないと、建物の性能が発揮されない。</li> <li>・今の庁舎が夏暑い。夏の通風や日射の遮断の仕方をどうするか。夏に自然豊かな所で快適なのが大事だと思う。</li> <li>・中廊下的な空間は、2方向に風が抜くところが無いとなかなか抜けない。自然換気ならパツと思いつくのはちょっと高くしてあげてハイサイドから上に抜く。上に抜くためには、どこか下、横から入れなければならない。そういう工夫が必要。</li> <li>・冷房は空調が一番やりやすいと思う。暖房は空調が共用でやりやすいが、温かい空気は上に行くので、少し放射で備える。パネルヒーターを見せないようにやる等、棲み分けをした方が良い。</li> </ul>  |
| 庭、樹木 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・向こう50年、100年にどう樹木をメンテナンスするのか。</li> <li>・木で囲む事は、景観の観点からいうと非常に素晴らしい。</li> <li>・執務室、庁舎としてあまり情報を漏らさないプライベートな庭と、町民を入れて開放的にする庭の2種類があるかと思うので、これから考えていかなければならない。</li> <li>・植樹帯をつくらずそのまま植えるんじゃないかなと思うが、その時に除雪はどうするのか。これから育っていく樹木に対しては慎重に除排雪をしなければならぬ。</li> <li>・色彩豊かなボーダーの庭は、どうやって運営していくのか。</li> </ul>  |

| 項目      | 意見概要   |
|---------|--|
| 既存庁舎の更新 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・回廊の一番内側に一番古い建物が残るが、建物を壊して新しくする時にどうするのか、将来を見据えた作り込み、準備をしておくか。</li> </ul>  |
| 事業費     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年の話で、富良野市は箱型で8,700㎡、直接工事費36億円。あのボックスよりはるかに手間がかかる。建築物は、延べ床面積に対して表面積が大きくなるほどコストアップするが、これは圧倒的に表面積が大きい建物である。このコンセプトをキープして全てを実現する時に、予算内に収まらないと思うので、実施設計ではどこで線を引くのか、発注者として決断を迫られる。</li> </ul> |

複合施設の整備に関する講評会 : 意見概要まとめ

(2) 実施設計に向けた座談会 (第2部)

| 項目                       | 意見概要   |
|--------------------------|--|
| <p>全体的な観点<br/>・諸機能配置</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・診療所は、回廊からと外からの入口があるが、感染症が起こった時は、多分リング側を封鎖することになるのではないかと。その場合、外側の入口のみで移動しなくてはならないが、東出入口と待合室の入口の間に樹木が回っているので、動線計画にもう少し配慮が必要。</li> <li>・最近、色々な庁舎が出来ているが、何でも好きな事をして下さいってタイプのオープンスペースが、市民の方で日常的に賑わっている場所で良いと思っている。これは、美術館みたいにコントロールされている中で使わないといけないうかという少し懸念がある。</li> <li>・藤本さんの設計なので、各地の建築学生が結構来るのではないかと。学生と町民や職員の方のバッティングが少し気になる。</li> <li>・町民の裁量になるスペースが限られている印象がある。町民がどう捉えるのか、という所をもう少し町民目線に落として説明頂きたい。</li> <li>・複合化する事によって新しく生まれる化学反応みたいな物が複合化の意味として大事であると考えた時に、そういう事が誘発されていくのか。決めつけられない許容できるスペースみたいなものが必要になると思う。回廊上にある多目的スペースの機能の組み合わせの仕方は、もう少し配置計画から考えられるのではないかと。</li> <li>・建築基準法、消防法の扱いをなるべく早い段階でクリアしないと、後に大きなトラブルにならないかと不安に思う。</li> <li>・複合化した事によるお互いの関係性が回廊の通過動線だけで良いのか。</li> <li>・釧路市は、毛綱毅曠さんが30年位前にあちこちに建てられた。、当時は色々と言われていたが、30年経って都市景観としても溶け込んでいっていると思う。30,50年後の東神楽の新しい景観、街をイメージしてつくられたんじゃないかと思うので期待している。</li> <li>・諸室で行われている活動や、こういう事をしていっている見える、この人がいるの見えるのが大事なと思う。パースを見る限り回廊は、カーブが強く、列柱も立っているの見えるのが良くないのではないかと。回廊以外の所でも、諸室での活動が見えるきっかけを作れると良いのではないかと。</li> <li>・例えば私の祖母が庁舎に行ったら多分迷子になる。モミジなど馴染みがあるものを目印、ランドマークという視点で、もうちょっと調整出来るのではないかと。</li> <li>・滞在出来る空間が、リングの南西側に偏っているイメージ。北東側はあまり滞在するイメージが無い。出会ったり賑わったりする場所が偏って良いのか。</li> <li>・将来的に高齢化が進み、自動運転やバスの無人運転等公共交通の重要性が高まった時に、バスの待合も正面的な顔になるのかなと少し思う。</li> <li>・町民が使われた時にどういう活動が出てくるのかに重きを置いた計画をなされていく事が重要ではないかと。</li> <li>・樹木で囲われているとは思いますが、活動や賑わいが、もう少し（樹木）外に表出していく仕掛けがされると尚良い。</li> <li>・多分、白が基調になると思っているが、北海道は白を使いたがらない。本当に白で形になった時に、どういう視覚的な要素も出てくるかと期待しているし、大丈夫かと思っている。</li> <li>・例えば、図書館の本を庁舎の方へ持ってきて読めるようにする等があったら良いと思う。</li> <li>・配置される機能の順番や、位置が重要になると思う。カフェ、郵便局、サークル室は、どっちに振るかで変わると思う。</li> <li>・ここで子どもが遊んでいる姿、誰かがお茶している姿、そういうのがイメージ出来ない。すごく良い空間が沢山あるのに使い勝手が勿体ない。</li> <li>・LGBT等インクルーシブデザインみたいな傾向は、日本が圧倒的に遅れているが、次世代の子供たちや町民の啓蒙、教育を含めて、取り組んでいくべきではある。理解ある所には障がい者用トイレを少なくとも二つ用意し、サインに「LH (Left Hand)」「RH (Right Hand)」を付けてもらった。</li> </ul> |

| 項 目               | 意見概要   |
|-------------------|--|
| 回廊                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・色んな人の目、役場の人の管理下に置かれていると感じる。その中では逃げ場が存在する方が良いのではないか。この中では、庭になるのではないか。回廊のパスを見ると開口があまりなく、ルーバーの印象が強くて外もあまり見渡せないで、もうちょっと抜けがあるような回廊と庭になったら良い。</li> <li>・回廊は全部が同じ仕上げにならないのかも知れない。何かしみ出しやすい場所と歩く場所と外見場所等、色々なヒエラルキーがこの中にあると思う。それを活動する人達が居場所をどう管理するかと、イベントをやり易くするかが、これから実施設計の中で少し詰めていけたら良くなる。</li> <li>・色んな要素（機能）があるので、回廊自体に個性を出してしまうと、ぐちゃぐちゃぐちゃぐちゃすると思う。</li> <li>・ユニバーサルなデザインの色使いは絶対出てくる。そこは意識してもらわないといけない。シンプルになるほど、こっち側に行ったらこれがあるというマーク、サインは重要になる。もしサインをビルトインしないと後付けする形になり、恰好悪い。絶対そういう風にはしたくない。</li> </ul> |
| 文化ホール<br>(バックヤード) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児健診の使い方にとって使いやすいかと言うと、そういう訳じゃない。そこを使えととなっている。利用に適した建築計画になっているか疑問が残る。</li> <li>・子供が健診来る時、廊下が狭すぎる。楽屋だったら廊下はこれで良いが、廊下で滞留する。ホワイエまでしみ出し出来れば良い。</li> <li>・サークル活動室を強調された方が良いような気がする。そういうシーンが外から見えるのは、理解がしやすい。</li> </ul>   |
| 役場庁舎              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・役場だとそれぞれの課が分断している必要はなく、一体的にみんなが見えて、分かり合えた方が良くと思う。見渡し良く仕事出来る事は大事。</li> <li>・今の図面を見るとそのままのレイアウトになっているのかなと思った。</li> <li>・ユニバーサルレイアウトでスペースを考えている。</li> <li>・「上部ガラスアトリウム」の下が会計課と金庫なので、その意味があるのかが分からなかった。</li> </ul>   |
| 塔・屋根形状            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠くから見える、感じ取る所で塔の高さが14mとの事だが、計算すると、敷地内に実際に入ると、塔の頭が樹木からちょっと飛び出す位で、あまりアプローチから塔が見えないので、実際の機能通りに使い手が使いやすいのか。</li> <li>・「樋」って描いてあるが、爆裂すると思う。</li> <li>・エントランスには（雨水を）垂らしちゃいけない等、屋根の排水計画は大事である。流れ屋根だから、その排水が大変そうだ。</li> </ul>  |
| 室内環境              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・春夏秋冬の温度レイヤーマップを作って、この範囲位に省エネでちゃんと調整出来るような建築にしてくれと、リクエストを用意したい方が良くと思う。</li> </ul>   |
| 庭、樹木              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・散歩をする時に、それぞれのお花のエリア、ピクニックのエリア等特徴があるが、それらに行くには、今、回廊しかない。例えば樹木の辺りにもう少し歩いて行けるような部分や、庭の中でう少し移動出来る所を出してほしい。</li> <li>・既存のモミジを残したけれども壁で回廊から見えなくなっている。折角残したのなら、既存のモミジと関わられるような場所が作れるのではないか。</li> <li>・カラマツのリングの内部の庭の空間をどう造るかは大事だと思う。割と設計者が意図しない使われ方も出てくるかも知れない。</li> <li>・藤本さん自身は（樹木の）リングの内側を自由に出て欲しくないと思っているのではないか。だが、町民がピクニック等をする可能性があるとした時の中との関係は大事になる。回廊と樹木の間は、利用・活動を考えた時にどういう想定をしているのか現時点で分からない。</li> </ul>  |

| 項 目     | 意見概要   |
|---------|--|
| 更新・維持管理 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・改修・更新のしやすさという部分も配慮して頂きたい。</li> <li>・釧路市は毛綱毅曠の建築物で、複雑な形状の防水辺りが苦労している。</li> <li>・工事が完成した時に、耐用年数まで残り30年しかない既存庁舎が真ん中に残る。そうなった場合に、その改修もしくは改築の手法を実施設計の中で組み込んだ方が良い。</li> <li>・クレーンでずっと外からやる場合、北海道で1、2台しかない重機になる。重機だけでお金がどんどん高くなる。</li> <li>・回廊は壊しやすい所を一個造る、もしくは、ある程度の重機が通れる位開閉できる仕組みを作る方が良いかも知れない。</li> </ul> |
| 事業費     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・議会庁舎は備品以外で101億円、1万9千㎡あるので53万円/㎡。それでも大分経済設計して造ったという経緯を聞いている。</li> </ul>   |
| その他     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施設計で契約業者が変わって行ったり来たりは、普通あり得ない。そうした時の実施設計はものすごく大変だと思う。</li> <li>・今回、3期に分ける事となっているので、法的には一番最初の時から、全体計画承認也を取って、仮使用で行くような形になると思う。それらを実施設計の時には意識しながら設計しなければいけない。</li> </ul>  |